

#### (4) 適地における防災拠点機能の検討

基幹的広域防災拠点の適地について、現状の機能等を踏まえ、基幹的広域防災拠点として担うことができる機能を整理すると次のようになります。

##### ■基幹的広域防災拠点の適地において担うことができる基幹的広域防災拠点の機能

	ヘリポート機能	救援物資の受入れ・中継・配分機能	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	災害支援医療機能	物資・資材の備蓄機能	指令本部機能	その他の機能
名古屋空港周辺地区	● 空港内ヘリポート	○ 荷捌きスペース、一時保管施設の設置	○ ベースキャンプ地の設置	● 名古屋空港での航空輸送による受入れ	△ 災害医療活動スペースの設置	○ 備蓄倉庫の設置	○ 新規設置※	○ 防災教育・訓練機能、防災研究センター機能、防災・減災普及・啓発機能
名古屋港周辺地区	△ 稲永公園サッカー場又は浮体式防災基地の活用	△ 耐震岸壁及び稲永スポーツセンターの活用	△ 稲永公園の活用	● 名古屋港での海上輸送による受入れ	○ 災害医療活動スペースの設置	○ 備蓄倉庫の設置	△ 名古屋港管理組合庁舎等を活用したサブ拠点本部	○ 産業支援機能 燃料備蓄・補給機能
名城公園周辺地区	△ 公園内の野球場の活用	△ 愛知県体育館・愛知県スポーツ会館の活用	△ 名城公園の活用	○ 国連災害評価調整チームの受入れ	△ 名古屋医療センターとの連携	○ 備蓄倉庫の設置	○ 新規設置※	○ 防災教育・訓練機能、防災研究センター機能、防災・減災普及・啓発機能、政府補完機能
愛・地球博記念公園	△ 公園内の野球場の活用	△ 温水プール・アイススケート場などの活用	△ 多目的広場、多目的球技場の活用	×	○ 災害医療活動スペースの設置	● 平成24年3月完成予定	△ 地球市民交流センターを活用したサブ拠点本部	○ 災害ボランティアセンター本部機能、海外への災害支援機能
岡崎中央公園	△ 公園内の野球場の活用	△ 公園内の運動広場や体育館の活用	△ 公園内の多目的広場の活用	×	○ 災害医療活動スペースの設置	○ 備蓄倉庫の設置	△ 体育館を活用したサブ拠点本部	
新城総合公園	△ 公園内の野球場の活用	△ 公園内の広場の活用	△ 公園内の広場の活用	×	△ 屋根付き広場の活用	○ 備蓄倉庫の設置	△ 管理事務所を活用したサブ拠点本部	

記号の説明：●設置済み ○新規に設置が必要 △既存施設の活用が可能 ×設置は不可

※ 指令本部機能は、名城公園周辺又は名古屋空港周辺に設置するのが望ましい

また、各地区において基幹的広域防災拠点の機能を配置しようとする、以下のとおりが想定されます。

### ① 名古屋空港周辺地区

■防災拠点地区名		名古屋空港周辺地区
■防災拠点として期待される役割		県営名古屋空港の航空輸送を活用して、全国や海外からの救援物資、支援部隊の受入れをはじめ、航空自衛隊小牧基地と連携した基幹的広域防災拠点としての役割が期待される。
■防災拠点機能の考え方		県営名古屋空港の滑走路やヘリポート、高速道路を活用し、航空・陸上輸送を中心とする救援物資や支援部隊の受入れ・中継機能、指令本部機能を設置し、基幹的広域防災拠点のコア拠点として整備する。
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 県営名古屋空港のヘリポートを活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 航空輸送による救援物資の受入れ ・ 名神高速道路小牧ICから名古屋高速道路豊山ICを經由して陸上輸送による救援物資の受入れ ・ 救援物資の一時保管・荷捌きのための機能を新たに設置
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ 消防・警察の広域支援部隊の集結・ベースキャンプ機能を新たに設置 ・ 自衛隊のベースキャンプは小牧基地を活用
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 県営名古屋空港での航空輸送による受入れ
	災害支援医療機能	・ ヘリポート基地を活用し、災害派遣医療チームの集結、被災地の重篤患者を災害拠点病院へ搬送する指令機能を設置
	物資・資材の備蓄機能	・ 物資・資材・燃料等の備蓄機能を新たに設置
	指令本部機能	・ 指令本部機能を新たに設置
	その他の機能	・ 防災研究センター機能、防災教育・訓練機能、防災・減災意識の普及・啓発機能、産業支援機能を新たに設置
■機能構成イメージ		

## ② 名古屋港周辺地区

■防災拠点地区名		名古屋港周辺地区
■防災拠点として期待される役割		名古屋港の海上輸送機能を活用して、全国や海外からの救援物資、支援部隊の受入れをはじめ、内陸部の陸上輸送が寸断された際の基幹的広域防災拠点としての役割が期待される。
■防災拠点機能の考え方		広域防災活動拠点である稲永公園・稲永東公園、臨海広域防災活動拠点である潮風埠頭の耐震岸壁、浮体式防災基地を活用しつつ、隣接する稲永埠頭へのフェリーターミナルの移転整備に併せて不足する機能を整備し、海上輸送を中心とするサブ拠点を形成する。
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 稲永公園サッカー場及び浮体式防災基地のヘリポートを活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 潮風・稲永埠頭の耐震岸壁への接岸より、海上輸送による救援物資の受入れ・中継・配分 ・ 稲永スポーツセンターを活用した救援物資の一時保管
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ 稲永公園・稲永東公園を支援部隊の集結・ベースキャンプ地として活用
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 潮風・稲永埠頭の耐震岸壁より、海上輸送による海外からの救援物資の受入れ
	災害支援医療機能	・ 災害派遣医療チームの集結、被災地の重篤患者を災害拠点病院等へ搬送するための指令機能を設置
	物資・資材の備蓄機能	・ 稲永埠頭に物資・資材、燃料等の備蓄機能を新たに設置
	指令本部機能	・ 名古屋港管理組合庁舎や名古屋港湾会館を活用した指令本部機能を設置
	その他の機能	・ 部品や製品の輸送等の産業支援機能、瓦礫等の処理機能
■機能構成イメージ		<p> <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid black; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, red 2px, red 4px);"></span> 新規設置施設等  <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; border: 1px solid black; background: repeating-linear-gradient(-45deg, transparent, transparent 2px, blue 2px, blue 4px);"></span> 既存施設の活用等         </p>

### ③ 名城公園周辺地区

■防災拠点地区名		名城公園周辺（三の丸）地区
■防災拠点として期待される役割		名古屋市中心部の利便性や国の出先機関の集積を活かして、広域災害時の指令本部を中心とした中核的な基幹的広域防災拠点としての活動が期待される。
■防災拠点機能の考え方		広域防災活動拠点である名城公園を活用しつつ、不足する指令本部機能や物資・資材の備蓄機能を整備し、指令機能を中心とする防災拠点を形成する
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 名城公園をヘリポートとして活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 陸上輸送と堀川の水上輸送による救援物資の受入れ ・ 公園内のオープンスペースを活用した物資の中継・配分 ・ 愛知県体育館や愛知県スポーツ会館を活用した救援物資の一時保管
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ 名城公園のオープンスペースを活用した支援部隊のベースキャンプ
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 名古屋空港や名古屋港を経由した海外からの支援物資の受入れ、国連災害評価調整チームの受入れ
	災害支援医療機能	・ 災害派遣医療チームの集結、独立行政法人名古屋国立病院機構名古屋医療センターと連携した災害支援医療の提供
	物資・資材の備蓄機能	・ 物資・資材の備蓄機能を新たに設置
	指令本部機能	・ 庁舎の再編、更新にあわせて指令本部を新規に設置
	その他の機能	・ 防災に関する教育・訓練機能、防災研究センター機能、防災・減災普及・啓発機能を新たに設置
■機能構成イメージ		<p>陸上輸送ルート</p> <p>物資の受入れ・配分機能</p> <p>堀川の水上交通を利用した名古屋港からの物資等の搬送</p> <p>名城公園の活用（救援物資の受入れ、中継・配分、一時保管、ヘリポート、物資・資材の備蓄）</p> <p>災害支援医療機能（名古屋医療センターとの連携）</p> <p>物資の受入れ・配分機能</p> <p>指令本部機能、啓発・体験機能、防災教育・訓練機能、防災研究センター機能（三の丸官庁街の現庁舎の再編・更新に合わせる）</p> <p>■ 新規設置施設等</p> <p>■ 既存施設の活用等</p>

#### ④ 愛・地球博記念公園

■防災拠点地区名		愛・地球博記念公園
■防災拠点として期待される役割		市街地から離れ、災害の危険性が比較的低いという利点や愛・地球博の開催地という知名度を活かした基幹的広域防災拠点として期待される。
■防災拠点機能の考え方		中核的広域防災活動拠点として位置づけられ、現在整備中の愛・地球博記念公園の機能を活用し、陸上輸送を中心とする防災拠点を整備する。
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 野球場をヘリポートとして活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 陸上輸送による救援物資の受入れ ・ 温水プール・アイススケート場や児童総合センターを救援物資の集配場として活用
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ キャンプ場及び多目的広場等を支援部隊のベースキャンプとして活用
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 名古屋空港を経由した海外からの支援物資を受入れ
	災害支援医療機能	・ 災害派遣医療チームの集結、被災地の重篤患者を災害拠点病院等へ搬送するための指令機能を設置
	物資・資材の備蓄機能	・ 平成 24 年 3 月完成予定
	指令本部機能	・ 地球市民交流センターを活用して指令本部を設置
	その他の機能	・ 災害ボランティアの活動本部機能、集結・派遣調整機能 ・ 海外への災害支援機能
■機能構成イメージ		<p>出典：愛・地球博記念公園基本計画</p>

### ⑤ 岡崎中央総合公園

■防災拠点地区名		岡崎中央総合公園
■防災拠点として期待される役割		愛知県中部及び東部の三河地域や静岡県方面の災害支援の拠点として、東名高速道路岡崎 I C の交通拠点と連携した基幹的広域防災拠点として期待される。
■防災拠点機能の考え方		高速道路を經由した陸上輸送を中心とし、救援物資や支援部隊の中継基地となるサブ拠点として整備する。
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 市民球場をヘリポートとして活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 陸上輸送による救援物資の受入れ ・ 運動広場や体育館を救援物資の集配場・一時保管場所として活用
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ 多目的広場等を支援部隊のベースキャンプとして活用
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 名古屋空港を經由した海外からの支援物資を受入れ
	災害支援医療機能	・ 災害派遣医療チームの集結、被災地の重篤患者を災害拠点病院等へ搬送するための指令機能を設置 ・ 隣接する岡崎市民病院（災害拠点病院）と連携した負傷者のトリアージや応急処置の実施
	物資・資材の備蓄機能	・ 新たに備蓄倉庫を設置
	指令本部機能	・ 体育館を活用して指令本部を設置
	その他の機能	・ 特になし
■機能構成イメージ		

## ⑥ 新城総合公園

■防災拠点地区名		新城総合公園
■防災拠点として期待される役割		愛知県東部の東三河地域や静岡県方面の災害支援の拠点として、新東名高速道路新城 I C（2014年開設予定）や三河港の交通拠点と連携した基幹的広域防災拠点として期待される。
■防災拠点機能の考え方		高速道路を経由した陸上輸送を中心とし、三河港の海上輸送とも連携し、救援物資や支援部隊の中継基地となるサブ拠点として整備する。
■広域防災拠点機能	ヘリポート機能	・ 野球場をヘリポートとして活用
	救援物資の受入れ・中継・配分機能	・ 陸上輸送による救援物資の受入れ ・ 競技場等を救援物資の集配場として活用
	支援部隊の集結・活動のベースキャンプ機能	・ 広場等を支援部隊のベースキャンプとして活用
	海外からの支援物資・人員の受入れ機能	・ 三河港を経由した海外からの支援物資を受入れ
	災害支援医療機能	・ 災害派遣医療チームの集結、被災地の重篤患者を災害拠点病院等へ搬送するための指令機能を設置
	物資・資材の備蓄機能	・ 新たに備蓄倉庫を設置する
	指令本部機能	・ 管理事務所等を活用して指令本部を設置する
	その他の機能	・ 特になし
■機能構成イメージ		